



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 フリュー株式会社

コード番号 6238 URL <http://www.furyu.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田坂 吉朗

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 財務経理部 部長 (氏名) 笹沼 理成 TEL 03 (5728) 1761

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,904	△0.4	750	△39.0	743	△39.9	495	△41.4
29年3月期第1四半期	5,930	—	1,231	—	1,235	—	846	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 483百万円 (△36.0%) 29年3月期第1四半期 756百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	17.53	—
29年3月期第1四半期	29.92	—

当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	21,360	15,724	73.6
29年3月期	22,324	16,089	72.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 15,724百万円 29年3月期 16,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 平成30年3月期の配当予想につきましては、未定としております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	12,500	3.9	2,000	△19.0	2,000	△18.9	1,400	△17.2	49.48
通期	26,500	6.5	4,000	2.0	4,000	2.0	2,800	0.1	98.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	28,296,000株	29年3月期	28,296,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	192株	29年3月期	192株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	28,295,808株	29年3月期1Q	28,296,000株

(注) 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年6月30日）におけるわが国の経済は、政府の各種政策効果の下支えもあり一部緩やかな回復傾向がみられるものの、米国政権の政策動向や、世界的な地政学的リスクの高まり等の懸念により、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境において当社グループは、企業理念「人々のところを豊かで幸せにする良質なエンタテインメントを創出する！」のもと、プリントシール事業の拡大、若年女性層の顧客基盤を活用したマネタイズの多様化、IP（知的財産）を軸としたキャラクター価値の最大化に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高5,904百万円（前年同期比99.6%）、営業利益750百万円（前年同期比61.0%）、経常利益743百万円（前年同期比60.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は495百万円（前年同期比58.6%）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(プリントシール事業)

プリントシール事業におきましては、プリントシール機の新機種「SALON AIR（サロンエア）」を発売したものの、プリントシール機全体としてのプレイ回数は減少し、シール紙売上は前年同期を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,935百万円（前年同期比97.0%）、営業利益は196百万円（前年同期比61.8%）となりました。

(コンテンツ・メディア事業)

コンテンツ・メディア事業におきましては、プリントシール画像取得・閲覧サービス「ピクトリンク」の入会促進施策と継続利用促進施策に取り組んだものの、プリントシール機のプレイ回数が減少した影響もあり、平成29年6月末における有料会員数は161万人となりました。

一方、「curet（キュレット）」等のWEBマガジンやメール広告「プリアドメール」、カラーコンタクトレンズの販売等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,091百万円（前年同期比107.9%）、営業利益は1,079百万円（前年同期比100.6%）となりました。

(キャラクタ・マーチャンダイジング事業)

キャラクタ・マーチャンダイジング事業におきましては、多数の新規キャラクター版権の獲得とその商品化を行いました。前期主力商品に匹敵するような売上が獲得するに至らず、前年同期の売上を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,099百万円（前年同期比83.5%）、営業利益は56百万円（前年同期比26.1%）となりました。

(ゲーム事業)

ゲーム事業におきましては、ニンテンドー3DS[™]向けオリジナルタイトル「アライアンス・アライブ」の発売や、平成29年3月に配信開始したスマートフォン向けオリジナルゲーム「恋愛幕末カレシ〜時の彼方で花咲く恋〜」等の影響により、売上を伸ばしました。一方、第2四半期以降に向けた開発投資の影響もあり、前年同期に比べ営業損失は拡大いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は652百万円（前年同期比130.7%）、営業損失は239百万円（前年同期 営業損失112百万円）となりました。

(その他)

その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は126百万円（前年同期比69.6%）、営業利益は33百万円（前年同期比52.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が21,360百万円、負債が5,635百万円、純資産は15,724百万円となりました。また、自己資本比率は73.6%となりました。

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ964百万円減少し、21,360百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少(前連結会計年度末比1,002百万円の減少)、受取手形及び売掛金の減少(前連結会計年度末比569百万円の減少)、たな卸資産の増加(前連結会計年度末比794百万円の増加)によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ599百万円減少し、5,635百万円となりました。これは主に流動負債その他(未払費用)の減少(前連結会計年度末比512百万円の減少)によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ364百万円減少し、15,724百万円となりました。これは主に配当金の支払による利益剰余金の減少(前連結会計年度末比352百万円の減少)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,693,790	10,691,061
受取手形及び売掛金	3,995,327	3,425,786
電子記録債権	600,364	769,759
たな卸資産	1,062,003	1,856,424
その他	1,178,728	1,034,506
貸倒引当金	△13,531	△6,992
流動資産合計	18,516,683	17,770,544
固定資産		
有形固定資産	2,465,650	2,229,443
無形固定資産	230,496	222,908
投資その他の資産		
その他	1,125,047	1,150,571
貸倒引当金	△13,147	△13,191
投資その他の資産合計	1,111,900	1,137,380
固定資産合計	3,808,047	3,589,732
資産合計	22,324,730	21,360,276

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	787,050	1,186,856
電子記録債務	1,481,015	1,474,986
未払法人税等	545,252	263,289
賞与引当金	5,945	219,013
返品調整引当金	142,092	137,108
その他	2,584,160	1,637,077
流動負債合計	5,545,517	4,918,332
固定負債		
退職給付に係る負債	676,293	703,911
その他	13,079	13,079
固定負債合計	689,373	716,991
負債合計	6,234,890	5,635,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,216	1,639,216
資本剰余金	1,639,216	1,639,216
利益剰余金	12,837,020	12,484,031
自己株式	△178	△178
株主資本合計	16,115,273	15,762,284
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	52,280	39,155
退職給付に係る調整累計額	△77,714	△76,486
その他の包括利益累計額合計	△25,433	△37,330
純資産合計	16,089,839	15,724,953
負債純資産合計	22,324,730	21,360,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,930,796	5,904,452
売上原価	2,375,778	2,531,927
売上総利益	3,555,017	3,372,524
販売費及び一般管理費	2,323,801	2,622,015
営業利益	1,231,216	750,509
営業外収益		
債務整理益	—	258
持分法による投資利益	3,165	—
保険解約返戻金	4,411	—
その他	434	182
営業外収益合計	8,011	440
営業外費用		
支払利息	131	190
為替差損	3,201	3,871
持分法による投資損失	—	3,582
その他	66	0
営業外費用合計	3,399	7,644
経常利益	1,235,828	743,306
特別損失		
固定資産除売却損	73	664
特別損失合計	73	664
税金等調整前四半期純利益	1,235,755	742,641
法人税等	389,215	246,756
四半期純利益	846,539	495,885
親会社株主に帰属する四半期純利益	846,539	495,885

（四半期連結包括利益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）
四半期純利益	846,539	495,885
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△90,900	△13,125
退職給付に係る調整額	929	1,228
その他の包括利益合計	△89,971	△11,896
四半期包括利益	756,568	483,988
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	756,568	483,988
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	プリントシール 事業	コンテンツ・メ ディア事業	キャラクタ・マ ーチャンダイジ ング事業	ゲーム事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	1,994,921	1,938,646	1,316,374	499,689	5,749,632
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-	-	-	-
計	1,994,921	1,938,646	1,316,374	499,689	5,749,632
セグメント利益又は損失(△)	318,360	1,073,397	218,293	△112,116	1,497,934

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	181,163	5,930,796	-	5,930,796
セグメント間の内部売上高又 は振替高	1,285	1,285	△1,285	-
計	182,449	5,932,082	△1,285	5,930,796
セグメント利益又は損失(△)	62,729	1,560,664	△329,447	1,231,216

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△329,447千円には、全社費用△331,397千円、セグメント間取引1,950千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	プリントシール 事業	コンテンツ・メ ディア事業	キャラクタ・マ ーチャンダイジ ング事業	ゲーム事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	1,935,077	2,091,176	1,099,219	652,914	5,778,387
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,935,077	2,091,176	1,099,219	652,914	5,778,387
セグメント利益又は損失(△)	196,880	1,079,881	56,978	△239,985	1,093,756

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	126,064	5,904,452	-	5,904,452
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	126,064	5,904,452	-	5,904,452
セグメント利益又は損失(△)	33,133	1,126,889	△376,380	750,509

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△376,380千円には、全社費用△378,330千円、セグメント間取引1,950千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。